

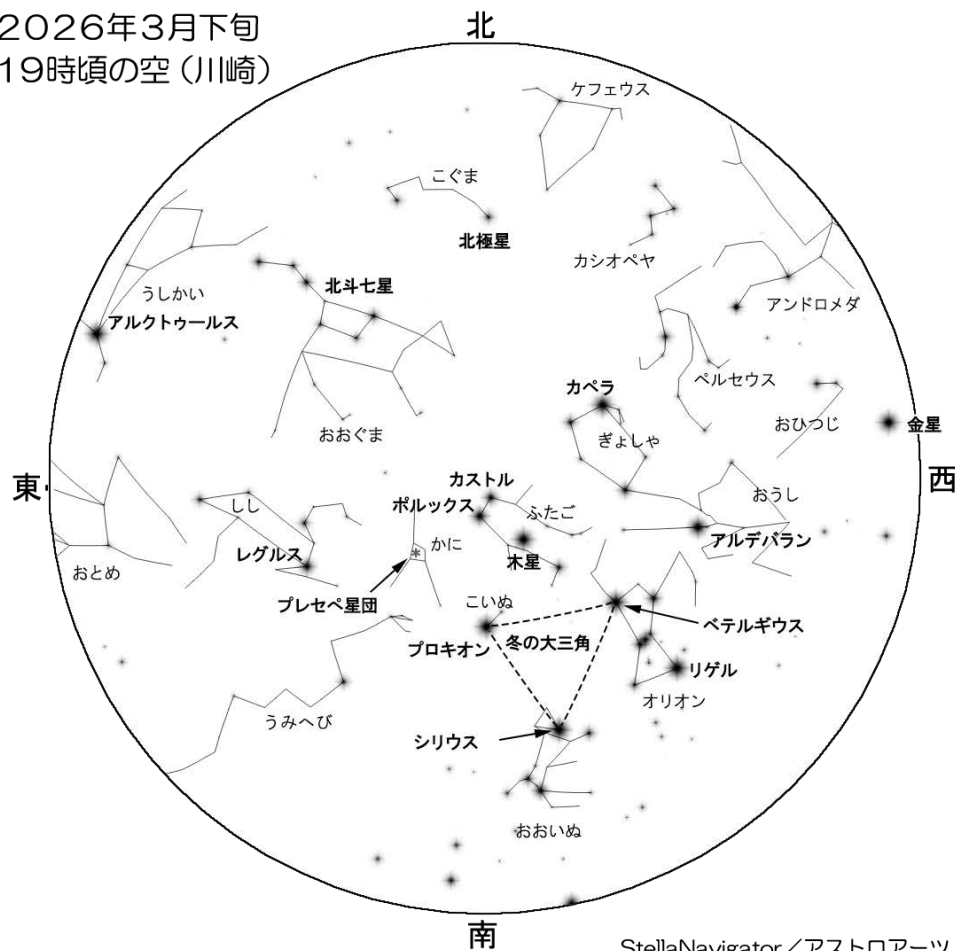
かわさき宙と緑の科学館

アストロテラス 夜間一般公開

2026年3月28日(土)

*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2026年3月下旬
19時頃の空(川崎)



StellaNavigator/アストロアーツ

2026年3月の星空

春分を過ぎ、19時の空には冬と春の星座を見ることができます。天頂近いところで一番明るく輝いているのは地球の兄弟星、木星です。今月はまだ木星はふたご座にあり、その近くには仲良く並んで輝くふたご座の1等星ポルックスと、2等星のカストルが見られます。そのほかにも明るい1等星ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバラン、オリオン座のベテルギウスとリゲル、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンも探してみましょう。東の空には春の星座も昇ってきています。はてなマークを左右反対にしたような形のしし座には1等星のレグルスがあります。そのレグルスとふたご座のポルックスを結んだ線のちょうど中間あたりにはかに座があり、その真ん中にはプレセペ星団という散開星団があります。双眼鏡で星が集まっている様子を観察してみましょう。

これからの天体現象

●注目現象

- 4月 2日 月(月齢14.0)とスピカが並ぶ
- 4日 水星が西方最大離角(0.3等)
この前後の日付で明け方の低い空で水星が観察しやすい
- 7日 明け方、月(月齢18.7)とアンタレスが並んで見える
- 16日 この前後の日、明け方東の空に水星、火星、土星が集まる
16日は月(月齢27.8)が近くを通る
- 19日 夕方、月(月齢1.9)と金星が並んで見える

●月の満ち欠け

- 4月 2日 満月
- 10日 下弦
- 17日 新月
- 24日 上弦

2026年3月の観望天体（予定）

【月】

本日の月は月齢 9.4。先日上弦を迎えているため、少し膨らんだ様子です。英語では月のことを「moon」といいますが、「moon」のみでは惑星の周りを回る星である「衛星」という意味にもなります。本日の観望天体である木星は多数の衛星が回っていますが、地球の衛星はただ一つ、この月のみです。そのため「the Moon」というほうが英語としては正しいようです。地球の唯一の相棒として眺めてみてください。

【木星】

木星は太陽系最大の巨大ガス惑星です。固い地面はありませんが、中心には岩石や氷の核があります。高速自転により赤道付近が約7%膨らんでおり、表面には地球サイズの巨大な渦「大赤斑」が見られます。木星の衛星は現在見つかっただけでも101個の衛星が確認されています。火山を持つイオや、氷の下に海があるといわれているエウロパなど、個性豊かな衛星が回っています。

トピック

2026年は3月20日が春分の日でした。天文においては、太陽の通り道である黄道が天の赤道を南から北に交わるところを「春分点」と言います。春分点は、星の位置を示す座標の原点（赤経0時、赤緯0度）なのです。太陽が春分点にある日を「春分の日」とするので、カレンダーの春分の日は年によって変わります。これは国立天文台の計算にもとづいて決められています。

春分は、二十四節気の1つです。また、黄道が天の赤道を北から南に交わるところを「秋分点」と呼び、そこに太陽がある日を秋分の日とします。太陽が最も北よりになった点を「夏至点」、太陽が最も南よりになった点を「冬至点」と呼びます。

春分点の記号は「♈」ですが、これは黄道十二宮の白羊宮（おひつじ座）を示すものです。天文学が体系化された今から2000年以上も前に、春分点がおひつじ座にあった頃の名残です。地球の歳差運動（地軸の首振り運動）により、現在の春分点はうお座に移動しています。太陽が夏至点にある日は地球上で北回帰線上に太陽があります。そのため、英語では北回帰線を「Tropic of Cancer」と呼びます。Cancerとはかに座のことで、夏至点がかに座にあったことによるものです。同様に南回帰線は「Tropic of Capricorn」で、Capricornはやぎ座のことで、



4月からは**星を見る夕べ**として開催します。

4月18日（土）受付時間：18:45～19:00

木星とかに座イオタ星（二重星）を観察予定です。

先着順で整理券を配布します。プラネタリウムで解説の後、番号順にアストロテラスへ案内し望遠鏡で観察していただきます。

※雨天・曇天等観察が難しいと予想される場合は中止。

（開催の有無は、当日15時に当館HP・Xでお知らせします。）

最新の科学館の情報は
ホームページ・SNSを
ご確認ください。



アストロテラス夜間一般公開
の感想をぜひご記入ください。
（所要時間 1～2分程度）



かわさき
宙と緑の科学館
Kawasaki Municipal Science Museum
サイエンスプリン

ぷりんのひとことメモ



よさぶそん
江戸時代の俳人・与謝蕪村がよんだ
「菜の花や月は東に日は西に」は、菜の
花の咲き乱れる春のうたなんだけど、こ
のときの月はどんな形だろう？

夕方、西に太陽が沈むころに東の空に
見える月だから、満月かその少し前の月
だね！